

倉掛新聞

《発行所》
倉掛自治連合会
井原市井原町倉掛
会長／大坪正広

《編集》
倉掛自治連合会
倉掛少年団育成部
倉掛少年団第5
消防井原分団

「公民館必要」

大坪自治連合会会長呼び掛け

平成十四年度倉掛自治会予算総会が四月六日、第5部消防機庫で開かれ、倉掛地区二十五組の新自治会長をはじめ関係者約四十人が出席した。

開会に先立ち大坪正広自治連合会会長が「自治運営には地域の一体化が不可欠。ご協力を宜しく」と挨拶を

平成14年度自治会長

- | | | | | |
|----|---|----|----|----|
| 1 | 組 | 10 | 小川 | 敬雄 |
| 2 | 組 | 7 | 西村 | 彦雄 |
| 3 | 組 | 10 | 田井 | 隆岩 |
| 4 | 組 | 5 | 浜今 | 幸治 |
| 5 | 組 | 13 | 山元 | 幸久 |
| 5 | 組 | 13 | 山森 | 久唯 |
| 6 | 組 | 13 | 柳本 | 唯一 |
| 7 | 組 | 8 | 倉橋 | 一生 |
| 8 | 組 | 21 | 藤原 | 伯陽 |
| 9 | 組 | 8 | 藤原 | 厚子 |
| 10 | 組 | 6 | 安原 | 和憲 |
| 11 | 組 | 7 | 岡上 | 勝志 |
| 12 | 組 | 7 | 井山 | 士夫 |
| 12 | 組 | 13 | 松山 | 三志 |
| 13 | 組 | 6 | 西森 | 一彰 |
| 13 | 組 | 13 | 藤井 | 順満 |
| 13 | 組 | 18 | 藤井 | 三恵 |
| 14 | 組 | 11 | 渡辺 | 三恵 |
| 15 | 組 | 10 | 島岡 | 孝啓 |
| 15 | 組 | 9 | 板原 | 二夫 |
| 16 | 組 | 10 | 朝原 | 成 |
| 17 | 組 | 10 | 丸山 | 成 |
| 18 | 組 | 8 | 丸山 | 成 |
| 18 | 組 | 10 | 丸山 | 成 |
| 18 | 組 | 2 | 丸山 | 成 |
| 18 | 組 | 3 | 丸山 | 成 |

「福祉活動や交流の拠点」

大坪会長の談話 市町村合併や地方分権の進展する中、地区の核となる公民館は是非必要と考えられる。ご理解が得られるなら、社会にて)

自治連合会新役員



平成14年度倉掛自治連合会役員の様子が決まった。任期は2年間で各役職は左記のとおり＝4月7日郷社境内にて

- | | |
|--------|-------|
| 会長 | 大坪 正広 |
| 副会長 | 渡辺 研一 |
| 会計 | 長尾 謙治 |
| 総務広報部長 | 妹尾 一成 |
| 消防部長 | 川相 益一 |
| 防犯交通部長 | 瀬川 芳隆 |

倉掛自治会 倉予算総会

議題に移り、改選年度に伴う役員人事案を満場一致で承認。長尾会計が、据え置いた自治会費と事業所数及び一般世帯数の微減を見込んだ、前年度比約2%削減の予算案を説明した。支出の部は倉掛地内の消火栓ホース全面交換を終え、本年度から始まる消火器や器具箱交換費用二十万円などが計上された。

川相支部長ら役員決まる

倉掛婦人会

地域に根ざした活動を展開している平成十四年度倉掛婦人会の役員五人が四月より交代し、支部長に倉掛



写真左より平井・赤木・川相・森・山岡の各役員

八組の川相房子さんが就任した。倉掛婦人は井原町婦人会の支部として、敬老会や共同募金などに力を注いできた。また倉掛自治連合会

活動の一角を担い、各行事には欠かせない存在となっている。川相支部長ら役員五人は「倉掛地区の皆様方のご協力を頂き、充実した一年にしたい」と抱負を語っている。本年度役員と主な前期活動は次のとおり。

- | | | |
|------|--------|-------|
| 副支部長 | 文化教養 | 平井 文子 |
| | 福祉生活 | 赤木 弘子 |
| | 保健体育 | 森 和子 |
| 会 計 | 山岡 理恵 | |
| 五月 | 婦人学級開校 | |
| 六月 | 会員研修旅行 | |
| 六月 | 介護教室 | |
| 八月 | 町盆踊り参加 | |
| 九月 | 井原町敬老会 | |
| 九月 | 共同募金協力 | |

郷社で防火演習

消火器を使って実戦的に

自治連合会主催の防火演習が六月二日午前十一時より、郷社で実施される。従来は防火知識を高めるために消火栓使用説明会を行ってきたが、今回は消防署と第5部消防団の協力を得て、即効性のある消火器を使用する。油の炎にはど

- | | |
|--------|-------|
| 福祉体育部長 | 倉橋 一郎 |
| 環境衛生部長 | 川相 弘光 |
| 監 事 | 田中 利治 |
| 監 事 | 井上 勝史 |

故障が相次ぐ

関係者ら渋い表情

防犯灯

倉掛地内の防犯灯（公衆街路灯）の玉切れや器具本体の故障が相次いでいる。昨年は比較的玉切れ等が少なかった関係で先般、本年度防犯費予算を減らし、総会で承認を得たばかり。自治連合会の長尾会計は「予想に反して出費が重なりそう。困ったものです」と渋い表情で話している。防犯灯は電気料金を各スポンサー、修理などを自治会予算で賄っている。

スポンサーを募集

倉掛地内の防犯灯がここ数年減少傾向にあり、自治

お詫び

倉掛新聞No30号2面の欄の杜に関する記事で、藤井直彦塾長の名前を誤って藤井幹彦塾長と記してお詫び致します。

連合会では現在、「暗い」と指摘されている周辺世帯からスポンサーを募っている。一灯当たりの電気料は年間約三千元。

桜と人で賑わう

少年団員 夕刻に清掃奉仕 郷社まつり

ほぼ満開の桜見物を兼ねて訪れた参拝者ら＝郷社



郷社足次山神社（大山秀憲宮司）の春季大祭が4月4日に執り行われ、22本の桜が咲き乱れる境内は市内外から訪れた多くの参拝者で終日賑わった。

「郷社まつりにやー、よ
う雨が降る」と、伝説めい
た会話が交わされる郷社ま
つりだが、今年には好天に恵
まれた。境内には六十を超
える露店や植木業者が立ち
並び、孫を抱いたお年寄り

郷社清掃は本年度最初の少年団活動



や親子連れ、春休み中の子
供らが祭りを楽しんだ。
午前中の式典では、6年
細羽いづみさん（五二組）
ら倉掛の小中学生六人が巫
女舞いを披露、午後からは
忠魂連名碑前で鎮魂
祭も執り行われた。
夕刻には倉掛少年
団（平井伸茂団長）
と同育成会（濱田吉
雄会長）が境内の清
掃奉仕を行い、約一
時間で紙くずや空き
缶などを約二十のゴ
ミ袋に回収した。

郷社境内で花見

「倉掛桜まつり」に発展？

15-1組
15-2組

倉掛十五一組と十五二組の住民約二十人が四月七日、郷社境内で花見の会を開いた。

これまででは郷社に桜を植樹した幼なじみ会の会員だけで行っていたが、今年には輪を広げようと旧十五組関係者に呼び掛けたもの。盛り上がった宴は午後3時頃まで続いた。

花見に参加した十五二組の渡辺幹男さんは「近所に住む人達同士が気軽に楽しめた。大変意義深いですね」と話していた。

これを聞いた住民からは「桜も大きくなったことだし、将来的には倉掛地区全体の桜まつりに発展させてはどうか」といった声も聞かれている。



ギター片手に

7組の倉橋一郎さん出演

井原市産業まつり

アマチュア音楽家として知られる倉掛七組の倉橋一郎さんが、近隣のコンサートやイベントで活躍を続けています。四月七日には井原

駅前で開催された井原市産業まつりに出演。得意のギターを手に仲間の杉本英二さんとステージに立ち、倉橋さん自身の一番好きな「スタンド・バイ・ミー」「ありがとう」など七曲を歌い、聴衆を魅了した。



倉橋さんが音楽に興味を抱いたのは高校時代。フォークバンド仲間と文化祭に出演したのを機に、以後、今日

魚津で国際交流

藤原さんとモンゴル選手団

毎年夏にモンゴルでマラソン大会を開いている倉掛の藤原達一さんが四月十九日から三日間、モンゴルの陸上競技選手団と富山県魚津市で交流を深めた。

モンゴル陸連は今年三月、国交三十周年記念事業の一環として、「日本のマラソン大会に選手を派遣したい」との意向を藤原さんに伝えた。国内各地の大会

倉掛ほっと情報

■春季井原町球技大会が4月21日、井原小学校体育館で開催された。今回の女子バレーボールは変則リーグで行われ、選手が集まらず棄権した中町を除く7チームが参加した。倉掛は初戦の夏目に競り勝ち、続いての向町戦は惜敗した。優勝は新町、準優勝は向町だった。倉掛チームの妹尾紀子代表らは「しっかり楽しめました」と、爽やかに会場を後にした。男子のソフトボールは雨天のため中止となった。

- さくらの家の活動情報
 - 「パッチワークを楽しむ会」
5月9日 午前10時～午後3時
会費200円 ※材料代別途・食事付
 - 「書道教室」
5月10日 午後1時～3時
会費200円 ※書道具類有り
 - 「ビデオ鑑賞会」
5月16日 午後1時～ 会費無料
 - 「絵手紙を楽しむ会」
5月23日 午後1時～3時 会費200円
※絵の具類有り

- ◆ 行事予定 ◆
- 5/5 第5部消防団試運転日
- 5/18 自治連合会防犯パトロール
- 5/19 倉掛地区全域溝掃除
期間=5/19~5/26
- 5/19 倉掛少年団公園&土手清掃
- 5/22 井原公民館運営審議委員会
- 5/24 事業所自治会費集金
- 6/2 汚泥積み込み・消火器薬剤入替・防火演習
- 6/9 倉掛少年団廃品回収
午前8時30分～
- 6/15 自治連合会防犯パトロール
- 6/16 井原学区少年団球技大会
(井原小学校)
- 7/7 第5部消防団試運転日
- 7/13 資源の日 古紙・古着等収集
午前7時30分～9時まで
- 7/13-14 倉掛少年団キャンプ
- 7/20 自治連合会防犯パトロール
- 7/28 モンゴル国際マラソン
(ウランバートル)

を検討した藤原さんは、井原市と友好親善都市の魚津しんきろうマラソンを推薦。話ほとんどん拍子に進み選手団を結成して来日。井原・魚津両市関係者の好意で井原市選手団（渡辺研一団長）と行動を共にし、日本のマラソン大会を楽しむんだ。

藤原さんは「魚津市の歓迎には驚いた。井原の方々の支援も有り難かった。ゴビ地方の高校生二人が嵐で空港まで来れず、来日を断念したのが心残り」。また、モンゴル駐日大使の甥でモンゴル陸連国際部のエリカ氏は「配慮頂いた井原市と魚津市の皆様に感謝する」とコメントした。